

1. 財団の運営

公益法人制度の抜本的な改革が進む中、当財団においても、ガバナンス・規律の確保等を通じ、適正かつ自律的な運営を図った。

さらに、平成20年6月に発表された「大阪府財政再建プログラム(案)」については、平成21年2月の理事会・評議員会(合同会議)で今後の対応案を議論した。

(1) 理事会の開催

収支予算・決算及び評議員の人事等、当財団の運営に係る事項を審議するため、下記のとおり理事会を開催した。

- 定例理事会(2回)…平成20年6月16日、平成21年3月25日
- 臨時理事会(2回)…平成20年8月1日、平成21年2月18日

(2) 評議員会の開催

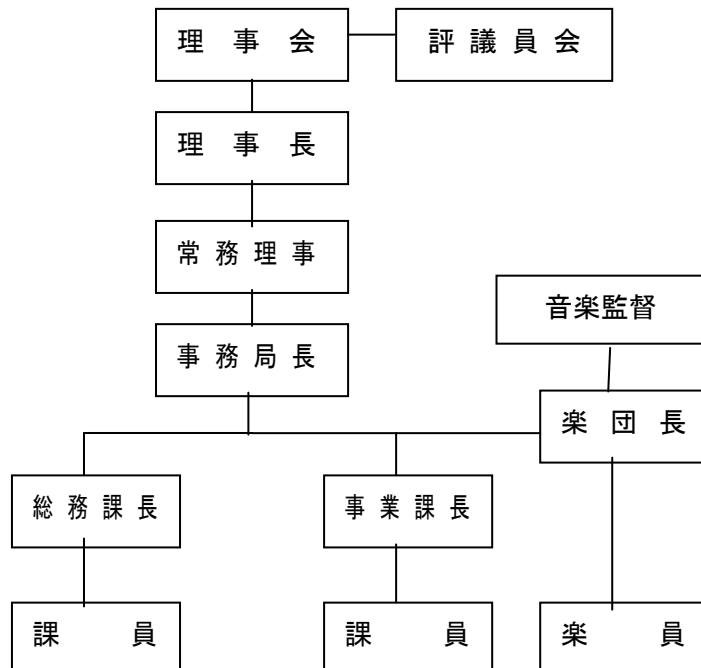
理事・監事の人事等、当財団の運営に係る事項を審議するため、下記のとおり評議員会を開催した。

- 定例評議員会(2回)…平成20年6月16日、平成21年3月25日
- 臨時評議員会(2回)…平成20年4月24日、平成21年2月18日

(3) 組織

平成20年度から小泉和裕が音楽監督に就任した。

役員：11名(理事11名、監事2名)
評議員：11名
事務局職員：13名(プロパー4名、契約職員3名、府派遣3名、民間派遣2名、嘱託員1名)
楽員：51名



2. 財団事業

大阪府における芸術、文化の振興を図り、ゆとりとうるおいに満ち、個性的で創造性に富んだ国際文化都市大阪づくりに寄与するため、管弦楽演奏等の音楽活動を中心とした下記文化事業に積極的に取り組んだ。

- (1) 管弦楽の演奏等を通じた音楽文化の振興…大阪センチュリー交響楽団運営事業
- (2) 舞台芸術文化の普及啓発…府民芸能・芸術鑑賞事業（半額鑑賞事業）
- (3) 文化施設の管理運営受託…服部緑地野外音楽堂の管理運営受託事業

3. 財団資産の管理

財団の基本財産及び減価償却基金等の財産について、安全確実な方法により運用し、財団の財政基盤の充実に努めた。

4. 具体的な事業結果

(1) 大阪センチュリー交響楽団の運営

府民の多様化、高度化する音楽ニーズに応え、質の高い音楽鑑賞機会を提供するとともに、国際文化都市大阪の文化的シンボルの一つとしての役割を果たすため、以下の基本理念に基づき大阪センチュリー交響楽団を運営した。

《基本理念》

- 芸術性の高い、我が国有数のオーケストラを目指す。
- 府民に親しまれ、府民の誇りとなるオーケストラを目指す。
- 青少年育成などを通じ、音楽に親しむ土壌を醸成し裾野を広げる。

《基本方向》

小泉和裕を初代音楽監督とし、首席客演指揮者に沼尻竜典を迎え、これまで培ってきた高い演奏技術を引き出すとともに、さまざまな編成の曲に取り組み、プログラムの可能性を広げた。

さらに、定期演奏会等自主公演の内容の充実を図ることにより集客に努めるとともに、依頼公演をはじめとする事業収入の確保を図った。府民のオーケストラとして社会貢献事業（パブリックサービス）に積極的に取り組む。特に音楽を通じた青少年育成など教育プログラムの実施により、一人でも多くの府民に生のオーケストラ演奏を聴く機会を提供することに重点を置いた。

あらゆる機会をとらえて楽団のPRに努めるとともに、顧客に対するきめ細かなアプローチを積極的に行った。

楽団組織

- 音楽監督：小泉和裕
- 首席客演指揮者：沼尻竜典
- 名誉指揮者：ウリエル・セガル
- 首席客演コンサートマスター：川崎洋介
- コンサートマスター：太田雅音
- 編成：2管10型（楽員定数 56名、現員51名）

① クラシック音楽の質の向上に向けた取組み

小泉和裕音楽監督、沼尻竜典首席客演指揮者のもと、主催公演のプログラムの充実を図り、演奏会を開催した。

(ア) 定期演奏会

ザ・シンフォニーホールにて、年10回実施（第130回～第139回）。小泉音楽監督が5回、沼尻首席客演指揮者が2回、外国人指揮者が3回登場。

小泉和裕は、ヒンデミット作品3曲を始め、ドイツ音楽を中心に指揮した。（第130回、第133回、第135回、第137回及び第139回）

沼尻竜典は、メシアン生誕100年を記念した「神の現存の3つの小典礼」をはじめ、フランス音楽を中心に指揮した。（第131回及び第136回）

第136回「放蕩息子」では、聴衆の理解を深めるため日本語字幕付きとした。

作曲家としても国際的評価の高いペンデレツキは、東京での日本初演に続く関西初演となる「ホルン協奏曲」を自ら指揮した。（第132回）

エストニア出身のカリユステは、世界最高峰のスウェーデン放送合唱団首席指揮者を務めた合唱のスペシャリストで、デュリュフレ「レクイエム」は適役であり、自国の作曲家ペルト作品を紹介し、歴史的につながりの深いフィンランドのシベリウス作品を指揮した。（第134回）

カザフスタン出身ブリバエフは、29歳ながらすでに多くの世界的なオーケストラを指揮し、平成19年度よりスウェーデン・ノールショッピング響首席指揮者を務め、当団とは初めての共演となった。ソリスト陣は、曲目に合致した音楽性の高い人材を登用した。（第138回）

(イ) 特別演奏会

大阪以外での知名度の向上、新規顧客の獲得のための京都特別演奏会の他、センチュリーサウンドの幅を広げるため企画コンサートを実施した。

《京都特別演奏会》

小泉和裕の指揮で、世界的チェロ奏者の堤剛を独奏者に迎え、平成21年1月25日（日）に、京都コンサートホールで開催した。

曲目：ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 口短調 作品104
チャイコフスキー：交響曲第5番 ホ短調 作品64

《特別演奏会「懐かしの映画音楽」》

1950年代60年代のハリウッド映画全盛時代の「映画音楽」を質の高い編曲により提供し、オーケストラの持つ多様性、次代に継承する名曲のアピール、オーケストラの新たな聴衆の獲得に努めた。

平成20年8月7日（木） 梅田芸術劇場 メインホール

《特別演奏会「センチュリー名曲コンサート」》

株式会社OMCカード協賛の冠公演として、家族で気軽にオーケストラ演奏を聴いていただけるコンサートを開催した。

平成20年11月11日（火） ザ・シンフォニーホール

② 府民のオーケストラとしての社会貢献事業の取組み

公立オーケストラのサービスの一環として、広く一般府民を対象にした演奏会や、ふだんオーケストラに触れる機会の少ない府民を対象とした演奏会を開催した。

(ア) 家族で楽しむ野外演奏会

家族づれで気軽にオーケストラに触れる機会を提供するため、夏休み期間中の最終の土曜日・日曜日（8月30日、31日）、服部緑地野外音楽堂において、「星空ファミリーコンサート」を開催した。クイズコーナーや指揮者コーナーなど参加型のコンサートとして、また、青少年によるアマチュア・オーケストラ「センチュリー・ユースオーケストラ」との共演などもあって、多数の入場者を得た。

観客総数 3,290名

(イ) 《オーケストラの日コンサート》

日本オーケストラ連盟が「オーケストラの日」と定めた3月31日に、沼尻竜典指揮により、箕面市立市民会館において、クラシックファンの裾野を拓げるため、チケット料金千円で、家族で楽しめるコンサートを開催した。

(ウ) 《ハウスコンサート》

平成20年12月21日、沼尻竜典指揮により、定期会員を対象とした「ハウスコンサート」をオーケストラハウスにて実施した。

(エ) 《ワンコインオーケストラコンサート》（新規事業）

平成20年7月から取り組んだ「センチュリー・ファンクラブ」加入促進のため、小泉和裕指揮によるワンコイン（500円）料金の演奏会を府域3箇所で行った。

平成21年11月1日	コスモシアター（貝塚）
平成21年11月2日	豊中市立市民会館
平成21年11月3日	松原市文化会館

(オ) 青少年を対象とするオーケストラ体感コンサート

児童・生徒たちが迫力あるオーケストラの生演奏を体験するだけでなく、楽団員とともに楽器に触れ、音を出し、オーケストラの中で演奏を聴き、オーケストラを指揮することができる「Touch the Orchestra」を、センチュリー・オーケストラハウスでの13回に加え、大阪の南部地域の高石アプラホールで3回、合計16回の公演を実施した。

6月18日、19日、20日（計4回）
9月29日、30日（計3回）
2月12日、13日（計3回）

(カ) 支援学校の児童・生徒を対象とした音楽鑑賞機会の提供

平成21年1月22日、国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）に、府立支援学校8校（和泉支援、岸和田支援、堺支援、泉北高等支援、富田林支援、守口支援、視覚支援、堺聴覚支援）から937名の児童・生徒・教職員を招き、音楽の楽しさを体全体で感じてもらう機会を提供した。

(キ) 府立病院コンサート

5つの府立病院のロビー等において、入院・通院している患者やその家族を対象に、音楽演奏によるやすらぎと感動を提供するため、アンサンブル・コンサートを開催した。

母子保健総合医療センター	…平成20年5月13日
精神医療センター	…平成20年5月14日
呼吸器・アレルギー医療センター	…平成20年5月14日
成人病センター	…平成20年5月14日
急性期・総合医療センター	…平成20年5月13日

(ク) センチュリーこどもコンサート（新規事業）

市町村教育委員会と共催で、小学生を地域のホールに招待してコンサートを開催した。

平成20年6月11日	東大阪市	(2公演)	東大阪アリーナ
12日	箕面市	(2公演)	箕面市立市民会館
10月23日	泉大津市	(1公演)	楠小学校体育館
24日	豊能町	(1公演)	ユーベルホール
平成21年1月28日	四條畷市	(1公演)	四條畷市立市民総合センター
3月5日	岸和田市	(2公演)	マドカホール

③ レクチャー・ワークショップ型事業の取組み

青少年育成のための事業などさまざまな取組みを通じて、クラシックファン、センチュリーファンの定着、すそ野の拡大を積極的に進めた。

(ア) 青少年のためのオーケストラ・ワークショップ

財団法人関西テレビ青少年育成事業団と連携して昨年創設した、青少年によるアマチュア・オーケストラ「センチュリー・ユースオーケストラ」は、楽員の指導のもと、オーケストラとの合同演奏を行うとともに、平成21年3月には小田野宏之指揮による第1回定期演奏会を開催した。

○星空ファミリーコンサート（共演：センチュリー・オーケストラ）

平成20年8月30日、31日 野外音楽堂

指揮：小田野宏之

曲目：ハチャトウリアン：バレエ組曲「ガイーン」他

○第1回定期演奏会の開催

平成21年3月29日(日) いずみホール

指揮：小田野宏之

曲目：ドヴォルザーク：交響曲第8番 他

(イ) インターンシップ生の受入れ

大阪音楽大学、大阪芸術大学等からインターンシップ生を受入れ、平成20年8月、平成21年2月、オーケストラの舞台づくりやライブラリアン業務等のレクチャーを行った。

④ 音楽事務所や公立ホール等からの依頼による公演

音楽事務所や音楽ホール、公立ホール、企業等からの依頼により73回の公演を行った。

更に、文化庁「本物の舞台芸術体験事業」の一環として、中国地方の小・中・支援学校でのワークショップを12回行った。

公演実績（17年度～20年度）

単位：回数

区	分	17年度	18年度	19年度	20年度	(20-19)
①	自主公演	38	40	44	52	8
	フルオーケストラ	31	31	38	46	8
	アンサンブル	7	9	6	6	—
②	依頼公演	68	52	70	73	3
	フルオーケストラ	59	48	64	60	△4
	アンサンブル	9	4	6	13	7
総公演数（①+②）		106	92	114	125	11

⑤ 収入確保のための取組み

出演者、演奏曲目など公演ごとに創意・工夫を凝らし芸術性・音楽性の高いものとするとともに、テレビ、ラジオ、新聞など各種メディアに精力的に売り込み、また、府民が目にする機会の多い沿線情報誌等への広告掲載や財団ホームページを通じた情報発信など広告宣伝機能を充実させることにより、定期演奏会等の自主公演におけるチケット販売収入の増額を図った。

さらに、文化庁・独立行政法人日本芸術文化振興会をはじめ、(財)アフィニス文化財団、(財)ロームミュージックファンデーション、(財)三菱UFJ信託芸術文化財団、郵便事業(株)から、総額51,869千円の助成金を得るなど、収入の確保に努めた。

大阪センチュリー交響楽団の活動に賛同いただける個人、法人に対しては、特定公益増進法人制度を活用した賛助会員への加入を積極的に働きかけ、1000万円の協賛金を得た。

さらに、クラシック音楽に馴染みのない府民に対して、チケットの割引やリハーサル見学などの特典を設けた「センチュリーファンクラブ」制度(年会費2000円)を平成20年7月に創設し、4,361人の加入をみた。

あわせて発足した「センチュリー・ワンコインサポート」(一口500円)には、9ヶ月で5,986,295円の寄附金が寄せられた。

※ 交響楽団事業収入実績(17年度～20年度)及び協賛金収入実績(20年度)

単位：千円

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	(20-19)
① 依頼公演収入	142,174	145,195	217,259	192,631	△24,628
② チケット販売収入	21,831	18,601	27,073	28,663	1,590
定期演奏会 有料入場者数(人)	(12,675)	(12,196)	(12,428)	(12,764)	
シンフォニー定期 総入場者数(人)	(14,316)	(13,997)	(14,234)	(14,394)	
" " 平均入場者数(人)	(1,431)	(1,339)	(1,423)	(1,439)	
" " 入場率(%)	(84.01)	(82.10)	(83.51)	(84.45)	
③ 個人定期会員収入	15,402	15,647	17,860	18,162	302
④ 団体定期会員収入	5,000	4,600	3,300	3,200	△100
⑤ ファンクラブ会員	—	—	—	8,654	8,654
⑥ 放送料収入	5,148	5,450	7,030	6,295	△735
⑦ その他収入(CD販売等)	2,865	4,340	5,338	3,284	△2,054
合計(①～⑦)	192,420	193,833	277,860	260,889	△16,971
⑧ 協賛金収入(事業協賛を含む)	—	4,640	4,640	10,160	5,560
⑨ 寄附金収入(ワンコインサポート)	—	—	—	6,252	6,252
合計(①～⑨)	192,420	198,473	282,460	277,301	△5,159

※ 個人定期会員数（シンフォニーホール）

単位：人

区分	座席数	18年度			19年度			20年度		
		年間	前期	後期	年間	前期	後期	年間	前期	後期
A席	768	324	50	53	313	48	48	317	44	67
B席	420	132	36	35	154	25	28	145	25	37
C席	306	91	—	—	90	—	—	91	—	—
D席	210	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	1,704	547	86	88	557	73	76	553	69	104
年間会員＋前期会員		6 3 3			6 3 0			6 2 2		
年間会員＋後期会員		6 3 5			6 3 3			6 5 7		

- 年間会員 4月～3月（10回分）
- 前期会員 4月～9月（5回分）
- 後期会員 10月～3月（5回分）

※ 団体定期会員数

	17年度末	18年度末	19年度末	20年度末
団体数	34	36	29	29
加入口数	50	46	33	33

※ 賛助会員数

	19年度		20年度	
	個人・団体数	寄付金口数	個人・団体数	寄付金口数
賛助会員(個人)	16	25	42	83
賛助会員(団体)	24	41	33	51

※ その他会員数

単位：人

会 員 名	18年度末	19年度末	20年11月末
メイト（一般）	1,204	1,268	1,354
シニア（65歳以上）	667	677	750
フレンドシップ（学生・障害者）	184	204	215
計	2,055	2,149	2,319

（平成20年11月末をもって廃止、20年7月に「センチュリーファンクラブ」を創設。）

○支出削減のための取組み

事務局員の給与削減をはじめ、楽員の給与体系の改正や通勤手当の算定方法の改正など、人件費の抑制に努めるとともに、事務事業を精査し、経費の節減を図った。

(2) 府民芸能・芸術鑑賞会事業（半額鑑賞会）

芸能・芸術愛好家のすそ野の拡大を図るため、大阪府及び(社)日本演劇興行協会の協力を得て、優れた舞台公演のS席または1等席入場券を通常料金の半額で府民に提供した。

平成20年度実績（第97回～第102回）

実施劇場	応募席数	当選席数	募集回数
新歌舞伎座 大阪松竹座 京都南座 国立文楽劇場	(葉書 60,130 通) 109,066 席	76,000 席 (うち確定 57,447 席)	年 6 回

(3) 文化施設の管理運営事業

(1) オーケストラハウスの管理

大阪府からオーケストラハウスを賃借し、センチュリー交響楽団の練習場、財団の事務所及び音楽サロンとして適正に管理した。

(2) 服部緑地野外音楽堂の管理

服部緑地野外音楽堂はジャズ、ロック、和太鼓など様々なジャンルの演奏会場として利用されている。この施設の管理を財団法人大阪府公園協会から受託し、その適正な執行に努めた。

○平成20年度の利用状況—《開館日数303日》

- ・ 野外ステージ利用団体数 延べ 49 団体
- ・ リハーサル室利用団体数 延べ 433 団体

構造・規模	鉄筋コンクリート(大屋根鉄筋骨造) 地上2階			
延べ床面積	約1,487㎡(うち2階330㎡)			
ステージ面積	276㎡(最大間口28m)(最大奥行13m)(最大高さ13m)			
収容人員	2,700人 (内訳) 固定椅子席 1,700人(うちステージ後部席321人) 芝生席 1,000人			
付属施設	リハーサル室	85㎡		
	事務室	27㎡		
	控え室(兼会議用)	62㎡		
	道具置場(26㎡×2)	52㎡		
	楽屋	15㎡		
	ピアノ庫	20㎡		
	調整室	25㎡		
利用時間	午前	午前9時～正午	夜間	午後5時～午後9時
	午後	午後1時～午後5時	全日	午前9時～午後9時
休館日	毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)及び12月27日～1月5日			

なお、21年度から財団法人大阪府公園協会による管理となった。